

糖尿病網膜症

糖尿病網膜症とは、**糖尿病が原因で、目の中の網膜という部分に問題が起こる病気です**。自覚されないうちに進行し、自覚症状が現れた時にはすでに失明の危機に瀕した状態であるという場合もあります。定期的に眼底検査を受け、**早期発見・早期治療をすることが失明防止につながります**。



当院では、併設している内科と連携を取り、糖尿病や腎臓病などの診療を行っております。



糖尿病網膜症の進行

正常な網膜	単純網膜症	増殖前網膜症	増殖網膜症
眼の状態	<ul style="list-style-type: none"> ・網膜の毛細血管がもろくなります ・点状および斑状出血 ・毛細血管瘤 ・硬性白斑(脂肪・蛋白質の沈着) ・軟性白斑(血管が詰まってできます) 	<ul style="list-style-type: none"> ・軟性白斑が多くみられます ・血管が詰まり、腫瘍欠乏になった部分が見られます ・静脈が異常に腫れて、毛細血管の形が不規則になります 	<ul style="list-style-type: none"> ・新生血管が硝子体に見られます ・硝子体出血 ・増殖膜の出現 ・網膜剥離 ・失明に至ることがあります
自覚症状	なし	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・視力が極端に低下します ・黒いものがちらつきます ・ものがぶれて見えます

Copyright: Santen Pharmaceutical Co., Ltd.

他院の内科で糖尿病を治療中の方も、当院眼科で診療させていただきます。糖尿病連携手帳や糖尿病眼手帳をお持ちの方はご持参ください。

※糖尿病の治療は現在お掛かりの病院でお続けください。



POINT!



糖尿病以外にも、**高血圧、腎臓病、動脈硬化**などが原因で網膜に問題が起こる場合が多くあります。

眼底検査を受け、**早期発見・早期治療**に努めましょう。